

## 近代化遺産ってなんだ!?

近代化遺産は、日本の近代化を支えてきた幕末から昭和20年までの建造物や土木構造物のことです。

いろいろな魅力がありますが、そのひとつは、建造物としての価値だけではなく、そこには、近代化していく日本の中で息づいていた人物（設計者や建築者、所有者）や風景、歴史的背景があること。

近代化を担った施設の建造物を中心として備品や機械類も含めて、それを誰が、なぜ建造し、どう稼働していたのか。それを知ると、その時代を生きた人々の夢や思いが伝わってきます。

そんな近代化遺産の魅力を伝える冊子「えひめの近代化遺産」はセンターにて好評発売中です。ご購入を希望される方は下記へご連絡ください。

公益財団法人えひめ地域政策研究センター

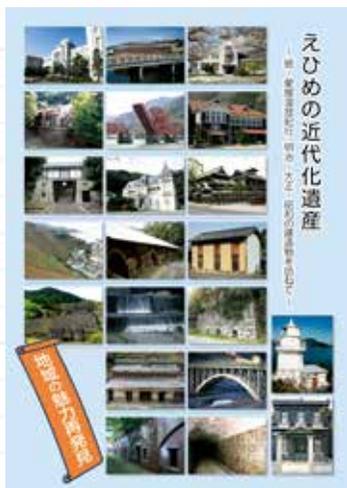
〒790-0065 愛媛県松山市宮西1丁目5番19号（愛媛県商工連合会館3階）

T E L (089) 926-2200 F A X (089) 926-2205

E - mail info@ecpr.co.jp

フルカラー・地図付・B5版75頁 定価800円（税込）

長浜大橋や松山東雲中学・高等学校の正門、砥部町外山のミカン小屋群等々の愛媛県内151件の近代化遺産をご紹介します。



長浜大橋



ミカン小屋